

◎基本情報

事務事業名	国際・国内交流推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 経済建設部 観光振興課 教育委員会 学校教育課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	昭和 ▼ 49 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		国際・国内交流			
施策	3	国際・国内交流の推進			
基本事業	1	交流のひとづくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び姉妹都市をはじめとする友好都市														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市と姉妹都市をはじめとする友好都市との交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、それぞれの都市との友好関係の強化を目指す。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	・第22回鳴門市姉妹都市親善使節団を派遣。 青少年派遣を継続して実施し、国際理解を深める機会を創出し、次世代の国際交流を担う人材育成を図る。 ・中国友好都市などとの交流を図る。 ・国内親善都市会津若松市との交流事業の実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>58</td> <td>60</td> <td>58</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	55	60	58	60	58	%
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	55	60	58	60	58	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第22回鳴門市姉妹都市親善使節団として、一般使節団員19名を10日間、青少年使節団員12名を8日間派遣し、両市民の友好交流を深め、次世代の国際交流を担う人材育成を図った。また、派遣時期にリュ市博物館にて板東俘虜収容所に関する展示会が開催されており、一般団員、青少年団員ともに現地市民やホストファミリーと一緒に訪れたことにより、100年前のドイツ兵と地元住民との交流が姉妹都市交流の起源であることを学習し、今後の姉妹都市交流の必要性について改めて理解を深めた。 日中国交正常化45周年を記念し、中国北京市で開催された「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」へ張家界市とともに初出場し、両市の中学生同士が交流を深め合った。また、張家界市人民代表大会副主任をはじめとする訪問団が来鳴し、市議会との意見交換や観光資源の視察を行うなど、互いの都市について理解を深め合った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市	52	32	35	35	35	人
	2 使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市	12	12	12	12	12	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	62	66	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		110.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	1,000	4,320	5,320
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	1,000	4,320	5,320
		決算額	0	0	0	1,000	3,541	4,541
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
	3.0	0.0		21,702		26,243		

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	3,175	4,541	4,837	4,746	4,352
	うち一般財源	3,175	3,541	4,537	4,746	4,352
	人件費	21,399	21,702	21,702	21,702	21,702
	総事業費	24,574	26,243	26,539	26,448	26,054

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		使節団に新規参加された方の割合が増え、また、新規参加者の再参加希望の声が聞かれ、国際交流の機運を高める機会を継続して創出できていることを確認できた。 青少年派遣枠12名に対し、21名の応募があり、鳴門市の国際交流の周知効果、国際的視点を持った青少年の育成の成果を確認できた。
	効率性	B:概ね効率的だった		
②成果に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合リユ市/鳴門市		団員のうち6割以上の人が初めて使節団に参加し、リユネブルク市を訪問。また、初訪問をした市民、青少年は帰国後も引き続き国際交流に対する高い意識を持ち、親善交流に積極的に取り組んでいる。
	目標	60	%	
	実績	66	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		使節団の新規参加者の割合や、青少年の派遣希望者数は増加しており、世代を超えた国際交流の定着化を進めることができた。また、張家界市との交流も促進されている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流においては、これまで第一線で交流に参加していた市民の高齢化が懸念される。現役で働く世代にも参加しやすいよう、日程や旅行費用などを考えなおしていく必要がある。また、未来の国際交流を担う青少年の派遣希望者も増加傾向であるため、12名の派遣枠を若干名増やすことも考える必要がある。</li> <li>中国友好都市との交流については、今後、広く市民を巻き込んだ友好交流促進への取組が必要である。</li> </ul>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	第22回リユネブルク市親善使節団を迎え、鳴門市民との交流を深める。青少年参加者については、市内の中学校・高校での授業参加や同学校に通う生徒宅でホームステイを行い、未永い交流の友情を築く機会を創出する。 張家界市が市制施行30周年を迎えることから、訪問団を結成し相互交流を深める。			
	H31年度	第23回鳴門市親善使節団を派遣し、リユネブルク市民との交流を深める。青少年の派遣を継続して行うとともに、現役で働く世代(20代~50代)にも参加しやすいツアーになるよう検討する。 張家界市との友好交流については、引き続き情報発信等を行うとともに、様々な分野において交流が図れるよう検討を行う。			